



健康“生き生き”羅針盤
リサーチコンプレックス

会員企業 発表会

第11回

開催日

11/7 (火)

17:00 - 18:30

| 今回のテーマ |

ヘルスケアソリューションの 社会実装

～自立、エイジング支援サイボーグと
社会インフラプラットフォーム～

オンライン開催・参加無料



【参加登録】 登録締切り：11/6 (月)

<https://forms.gle/DEnodm53LuVMUncU8>

ファシリテーター：小林 洋 司会：千田 修治
(神戸医療産業都市推進機構クラスター推進センター)

神戸ロボケアセンターにおける装着型サイボーグ
HAL®を中心とした取り組みのご紹介

神戸ロボケアセンター・大阪ロボケアセンター
統括センター長 石井亨宏

神戸ロボケアセンターなどでの身体機能を改善・補助・拡張・再生できる装着型サイボーグ HAL®の事例や、その他導入テクノロジー機器の紹介を通して、地域拠点における社会実装の現在と今後の展開についてご説明します。また HAL®の動作原理及び機種についてもご紹介します。特に脳神経系の活動ループを賦活化することで、脳神経・筋系の機能改善を促す

「NeuroHALFIT®」や脳神経・筋系のパフォーマンスの向上、身体のバランス調整などにおいて効果が期待できる「MTX式 Neuro HAL® プラス」などの「自立支援タイプ」のご紹介をさせていただきます。

「健康寿命の延びる沿線」実現に向けた取組
-3つの「ヘルスケア・プラットフォーム」と
重要疾患の重症化・再発・介護予防施策のご紹介-

阪急阪神ホールディングス グループ開発室
事業開発部部长 西水卓矢

「健康寿命の延びる沿線」実現に向けて構築した3つの「ヘルスケア・プラットフォーム」- 「健康のセルフケア=自助」を支援する『PHRアプリ』、「医療・介護多職種の情報連携=共助」を支援する『みまもりICT』、「地域包括ケアの推進」を支援する『拠点施設』-を活用し、地域の産・官・学・医・福と連携して進めている「心不全・脳卒中・糖尿病・骨粗鬆症の重症化・再発予防」、「社会参加を軸とする介護予防」を中心に、「沿線のお客様のQOL向上」と「医療・介護費の適正化」の支援を目指す取り組みをご紹介します。

<お問合せ> kobecity-rc@office.city.kobe.lg.jp (事務局 神戸市)

主催：神戸リサーチコンプレックス協議会